

UNICEF NEWS in みやぎ

Vol. 49

ユニセフ・ニュース
2008年4月

unicef 

ユニセフ（UNICEF：国際連合児童基金）は世界の子どもたちの命と健康を守るために活動する国連機関です。第二次世界大戦で被災した子どもたちへの緊急支援を行うため、1946年の第1回国連総会で創立されました。

現在ユニセフは「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」で定められている子どもの「生存」、「発達」、「保護」、さらに「参加」の権利を実現するため、保健、水と衛生、栄養、教育への支援、困難な状況にある子どもの保護、緊急事態下の子どもの救済をその国の政府やNGO（非政府組織）、地域の人々とともにを行っています。

『栄養不良の子どもたちを救うミラクル・フード』

アフリカで注目される栄養不良を改善する奇跡の食べ物

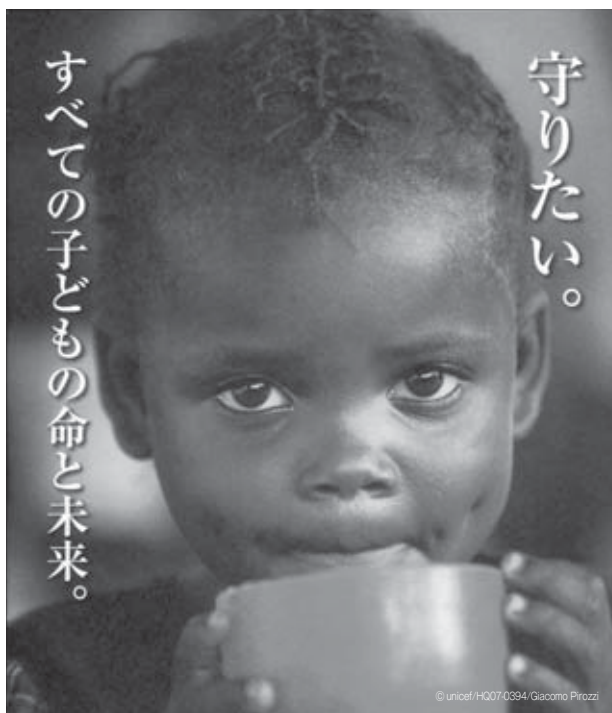
今、アフリカで「奇跡の食べ物」と呼ばれ、注目を浴びている食べ物があります。Plumpy' nut「プランピー・ナッツ[®]」です。5歳未満の子ども、死亡原因の56%が栄養不良に関係していると言われていています。太るという意味のplumpとピーナッツのnutを掛け合わせた名前ですが、これが栄養不良の改善にとっても役立っているのです。これは簡単に言うと「栄養補助食品」です。栄養不良の子どもたちに提供する食べ物です。ピーナッツバターのようなもので栄養価が高く、アルミの袋に入っていて、袋をちぎればそのまま口で吸い出して食べることがで

きるのです。水で溶くなど調理の必要がなく、器もいりません。そのうえ封を切っていなければ常温で1年間保存が可能なので、管理の面でも優れています。きれいな水が手に入りやすく、保健センターにも遠くへ行けない現地の子どもたちにとって、まさに「奇跡の食べ物」ミラクル・フードがこの「プランピー・ナッツ[®]」なのです。

栄養不良の子どもたちを救う奇跡

栄養不良の問題はとても深刻で、人々は「瀕死の状態」にならないと子どもを病院に連れていきません。栄養不良かどうか・・・大勢の子どもたちを短時間のうちに診て栄養不良かどうかを診断していくには、背丈、体重、上腕周囲を測定します。成長観察を通して、①低体重 ②消耗症 ③発育阻害などの問題がないかどうかを見ていきます。

ひどい栄養不良状態にある子どもでも、プランピー・ナッツを毎日3～5パック、1週間続けると栄養状態が大幅に改善されます。エチオピアではこの方法で、栄養不良の子どものうち、90～95%の子どもたちが栄養不良を脱却した地域もあります。



プランピー・ナッツ

（Plumpy' nut[®]はNutraset社の登録商標です）

ピーナッツバターをベースに粉乳、必須ビタミンを混ぜ合わせたもの。栄養価が高いため、健康な子どもには適していない。（1パック45円）



ユニセフ・フィリピン・スタディーツアー報告

「私たちの支援が形になった！」

2007年11月11日から17日にかけて、日本ユニセフ協会主催のスタディーツアーに参加してきました。今回のスタディーツアーでは、2006年2月に発生したフィリピン・レイテ島南部の地滑り被害に対する復興支援や、マニラなどでの子どもの保護活動やアドボカシー(政策提言)活動をしているNGOへの支援について学ぶことができました。

＜レイテ島地滑り被害＞

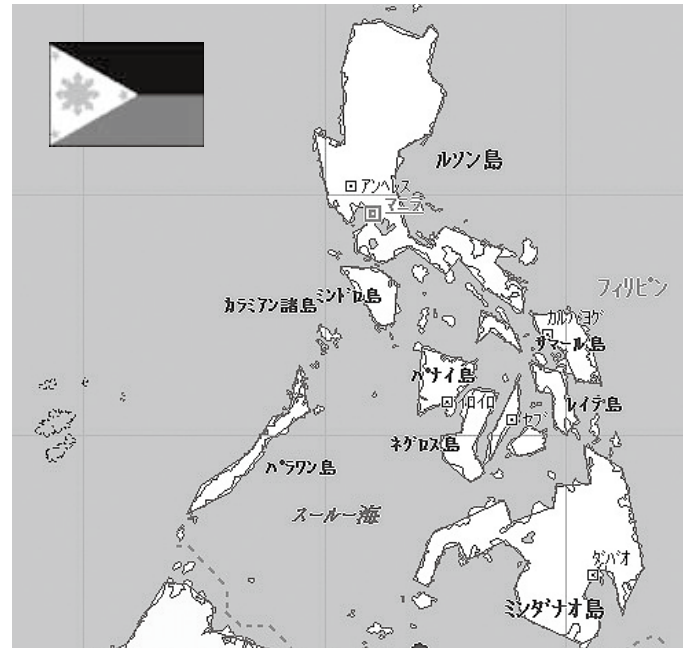
2006年2月、フィリピン・レイテ島南部セント・バーナードで大規模な地滑りが発生し、ギンサゴン村が埋もれ、小学生を含む1,000人以上が亡くなりました。大雨のため、いくつもの村で地滑りが発生し、住民は安全な場所に移る必要がありました。山の裾野に位置するボントック地域のパミグシアン村では、3kmの長さにわたって地面に亀裂が見つかり、地滑りの危険性が非常に高かったため、村全体が早急に別の場所へ移住する必要がありました。

パミグシアン村の全人口576人は、旧村から約4kmはなれたより標高の高い土地へ移動しました。南レイテ州政府は、パミグシアンの子どもたちのために新しい学校を作る計画を立て、2006年11月下旬、ユニセフはフィリピン教育省と地方自治体と覚書を交わし、学校建設プロジェクトに着手しました。

プロジェクトでは、パミグシアンの子どもたちが教育を受けられるようにするため、3つの校舎と給水設備、トイレ、教室用の家具、教材を提供



パミグシアン村の小学校



フィリピン共和国 (Republic of the Philippines)

7,109の島からなる国で、面積は日本の約80%。植民地時代の大地主と小作人の関係が現在も続いており、貧困の格差が非常に激しく、海外で働く人々の多額の送金がフィリピン経済を支えていると言われています。

しました。3つの校舎の中には、教室が8部屋、図書室、家庭科室、校長・職員室があります。完成(2008年1月)前の学校訪問でしたが、大勢の村の人々からの歓迎を受けました。ほぼ完成している教室で子どもたち一人一人にユニセフの青い「スクールバッグ」を手渡しました。中身は、ノート5冊や鉛筆、水筒、体育着、サンダル、歯ブラシなどが入っていました。そのほか、村人へ貯水用のポリタンクも贈りました。校舎内の机やイス、教材は日本からの緊急募金が活用されたものでした。



<ストリート・チルドレンの保護>



バタヤス地区の子どもたち

約8300万人のフィリピンでは子どもが全人口の43%を占め、ストリート・チルドレンの数はおよそ25万人。彼らを保護し社会の一員として生活できるように支援しているNGO

があります。ユニセフが支援している3つのNGOを訪問しましたが、学ぶことができる喜び、夢がかなうかもしれないという期待感が直接伝わってきました。貧困から抜け出す第1歩は教育だということ。子どもたちの、はちきれんばかりの笑顔が忘れられません。少しの後押しである笑顔が未来につながっていくのかと思うと、私たちががんばろうという思いを強く持ちました。

(宮城県支部事務局長 五十嵐栄子)



学ぶことの喜び、希望がかなう喜び、美しい笑顔の少女たち



一日400台のトラックがゴミを捨てにくる人々は、ゴミの中から売れそうなものを拾う

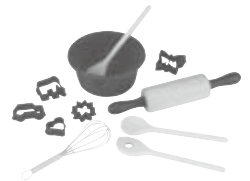
2008 Cards and Gifts ユニセフカードとギフト 春・夏号 2008

・・・新商品いろいろ・・・

ユニセフ製品は、定価の約50%がユニセフの開発途上国における現地活動資金等として、世界の子どもたちのために役立てられます。カタログご希望の方は宮城県支部へご連絡ください。



「でてるボックスー海のともだち」積み重ねて、楽しく数を覚えることができる知育玩具。¥2,500
仙台から渡米したメジャーリーガー(投手)のお子さんも愛用。



「小さなシェフのクッキング・セット」お子様の料理入門に最適な、子ども用クッキングセット ¥2,800

ボランティア一年生

昨年誘われて参加した「ユニセフのつどい」が私とユニセフとの出会いでした。その時の私の「ユニセフの知識」は、「支援を必要としている貧しい国々の子どもたちへ募金をするところ」でした。私はこの1年間にユニセフの学習会や研修会に参加して、たくさんのことを学びました。生まれたところが違うだけで、子どものころから働かなければならなかったり、学校へ行けなかったり、命さえも脅かされる子どもたちの存在を知りました。そのような厳しい状況の中でも子どもたちは懸命に生きています。そのことを多くの人たちに伝えたくて、小学校や中学校での「ユニセフ出前講座」に先輩ボランティアといっしょに出かけています。子どもたちの質問に答えたり、いっしょにワークショップに参加したり、いろんな新しい発見があります。

昨年夏の「外国コイン仕分け活動」には、我が子だけでなく友人の子どもたちも誘って参加しました。世界のたくさんの国々の「コイン」を種類別に分け、枚数を数え、不明のコインは「コイン博士」に尋ねたり、子どもたちは「ボランティア活動」をがんばった1日となりました。今年の夏休みにもまた参加しようと思います。今年は「ナン&カレー」の昼食も楽しみです。

ユニセフ・ボランティアのきっかけは、「私にも何かお手伝いできることがあるかもしれない」という軽い気持ちでしたが、いろいろな人たちとの出会いがあり、自分を見つめなおすこともできました。日本から世界を見る、世界から日本を見るなど、今までとは違った自分に出会えたように思います。

ボランティア 江刺千津子

お知らせ

これからの予定です。皆様の参加をお待ちいたしております。

◆ユニセフのつどい2008 in みやぎ

ユニセフ活動をお知らせし、宮城県内で活動している団体からの報告と交流の場です。また、世界の現状に目を向けていただく機会として、報道写真家・高橋邦典氏（シカゴ・トリビューン社、仙台市出身）の写真展と朗読の会を開催します。

日時：2008年6月7日（土）13：00～16：00 会場：せんだいメディアテーク 1F オープンスクエア
参加費：無料 ※写真パネルは6月10日～20日までみやぎ生協文化会館ウィズ2階に展示します。



◆ユニセフ入門講座

参加者募集

①ユニセフってなに ②子どもの権利条約について ③私たちにできること

日時：①5月27日（火） ②6月17日（火） ③7月8日（火） 各10:30～12:30

会場：みやぎ生協文化会館ウィズ 講師：ユニセフ・ボランティア・スタッフ

参加：無料 事前に参加申込みをお願いします（022-218-5358） 主催：日本ユニセフ協会宮城県支部



◆外国コイン仕分け活動（夏休みボランティア教室）

日時：①8月2日（土） 10:00～14:00 会場：みやぎ生協文化会館ウィズ
昼食はナンとカレーを用意、次号で詳細をお知らせします。



ユニセフ募金報告（2007年12月～2008年2月：宮城県支部預かり）

〈一般募金〉

多賀城市立山王小学校 ほなみ児童会
 仙台市立八幡小学校 児童会
 県立盲学校 インターアクトクラブ
 聖ウルスラ学院英智高等学校
 仙台市立榊江小学校
 仙台市立片平丁小学校 児童会
 聖ウルスラ学院英智小・中学校 ハンド・イン・ハンド
 向町小学校 児童会（山形）
 仙台市立東長町小学校 あげぼの児童会
 富谷町立富ヶ丘小学校 青空児童会
 美里町立小牛田小学校 アカシヤ児童会
 石巻市立橋浦小学校 わかば児童会
 大和町立落合小学校 わかき児童会
 仙台百合学園国際教育部
 仙台百合学園中学校第三学年
 大崎市立富永小学校 さくらんぼ児童会
 仙台市立岩切小学校 若竹児童会
 色麻町立清水小学校
 富谷町立富谷小学校 福祉委員会
 仙台市立根白石小学校
 仙台市立川前小学校 やしお児童会
 大崎市立古川第四小学校 ひかりの子児童会
 登米市立米岡小学校
 気仙沼市立末岩小学校 わかば児童会
 石巻市立広瀬小学校 かしま児童会
 登米市立北方小学校 緑ヶ丘児童会

美里町立小牛田小学校 PTA
 丸森町立大内小学校 児童会
 登米市立西郷小学校 福祉委員会
 美里町立南郷小学校 なるせ児童会
 美里町立中坪小学校 わかくさ児童会
 南三陸町立戸倉小学校 児童会

仙台市立上杉通小学校
 仙台市立川平小学校
 大崎市立清滝小学校
 ひばりがおか児童会
 富谷町立成田小学校
 あおぞら児童会
 仙台市立向陽台小学校
 大崎市立高倉小学校
 角田市立北郷小学校
 白石市立小原中学校
 本吉町立大谷小学校
 大崎市立宮沢小学校
 河南高校PTA
 尚綱学院大学生協
 山形中央ライオンズクラブ
 助け合いの会 新春のつどい
 宮城一般労働組合みやぎ生協支部
 100人の仲間たち（山形）
 （株）仙台食品
 ボーイスカウト 仙台第37団
 ガールスカウト 宮城県第4・14団



JRC委員会
 生徒会
 潮風児童会
 わかば児童会

みやぎ生協西多賀店 ハンドインハンド
 みやぎ生協船岡地区「こ～ぶ虹のふれあい」
 みやぎ生協富沢店書き初め教室
 みやぎ生協多賀城店 ユニセフ・バザー
 みやぎ生協古川南店 ユニセフ・カレンダー・バザー
 みやぎ生協岩切店 ユニセフ・カレンダー・バザー
 みやぎ生協明石台店 ユニセフ・カレンダー・バザー
 みやぎ生協桜ヶ丘店 ユニセフ・カレンダー・バザー
 みやぎ生協杉の入店 ユニセフ・カレンダー・バザー
 みやぎ生協加賀野店 ユニセフ・カレンダー・バザー
 みやぎ生協白石店 ユニセフ・カレンダー・バザー

〈河北新報社寄託金〉
 東北生活文化大学 高等学校商業科
 白石工業高校文化祭実行委員会
 聖クリストファ幼稚園母の会
 ボーイスカウト仙台 第35団
 虹の丘小学校父母教師会
 オープンガーデンみやぎ
 登米市立佐沼中学校
 宮城高専1年5組
 宮城高専有志
 東北文化学園専門学校
 台原小学校父母教師会
 河北仙販互助会



（1月24日 河北新報社寄託金贈呈式）
（敬称略・順不同）

※他にも、個人の皆さまからのご協力をいただいております。

～ご協力ありがとうございました～

（財）日本ユニセフ協会宮城県支部

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウィズ内
 Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail:unicef@miyagi.coop.or.jp
 月曜～金曜日 10:00～16:30

URL <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

お知らせは随時更新しています。

宮城県の会員数

団体： 2
 一般：217
 学生： 16